Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科				
科目名称	栄養教育各論Ⅱ						授業形態	講義	
科目コード	303000	単位数	2単位	配当学年	3	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	渡邉　純子							ICT活用	○
授業概要	総論、各論Ⅰで学んだ理論や展開方法を用いて、ライフステージ・ライフスタイルに応じた個別栄養教育、ならびに集団栄養教育のあり方や具体的方法について、また障がい者やスポーツ時に応じた栄養教育、食物・情報へのアクセスに需要な食環境づくりについても習得する。【態度・志向性の育成】 管理栄養士は栄養教育の対象と機会を常に認識し、自らも周りに働きかけて栄養教育の目的を遂行することが求められているため、関係機関と連携した組織づくり・地域づくりおよび食環境づくりの重要性についても学ぶ。 授業期間中において学ぶことはできても、身につけることができない資質・能力については関連する授業科目や諸活動等を通して学ぶ。【生涯学習力の育成】								
関連する科目	栄養教育総論・栄養教育各論Ⅰを事前に、履修後は、栄養教育論実習Ⅰ・Ⅱを履修して、栄養教育に関連する知識と技術の習得を目指す。								
授業の方法と進め方	授業内容の復習と確認のために、毎回「確認テスト」を実施する。授業は主に講義方式で行いますが、課題を与えてディスカッションをしたり、2人一組でロールプレイをするなど、アクティブラーニング型の授業を展開する。また、理解を深めるため、スライドのほか、DVD教材等の活用し、「確認テスト」を通して課題に対する自らの考えをレポートで表現する。【汎用的技能の育成】								
授業計画 【第1回】	オリエンテーション 各ライフステージの特徴と栄養教育上の課題について学ぶ。 「妊婦・授乳婦の栄養教育の特徴と留意点」 「妊婦・授乳婦の栄養教育の実際」								
授業計画 【第2回】	「乳児期の栄養教育の特徴と留意点」 「乳児期の栄養教育の実際」								
授業計画 【第3回】	「幼児期の栄養教育の特徴と留意点」 「幼児期の栄養教育の実際」								
授業計画 【第4回】	「学童期の栄養教育の特徴と留意点」 「学童期の栄養教育の実際」」								
授業計画 【第5回】	「思春期の栄養教育の特徴と留意点」 「思春期の栄養教育の実際」								
授業計画 【第6回】	「若年成人期の栄養教育の特徴と留意点」 「若年成人期の栄養教育の実際」								
授業計画 【第7回】	「成人期の栄養教育の特徴と留意点」 「成人期の栄養教育の実際」								
授業計画 【第8回】	「高齢者の栄養教育の特徴と留意点」 「高齢期の栄養教育の実際」								
授業計画 【第9回】	各ライフステージにおける問題解決のための栄養教育について学ぶ。 「障がい者の栄養教育の特徴と留意点」 「障がい者の栄養教育の実際」								
授業計画 【第10回】	「傷病者の栄養教育の特徴と留意点」 「傷病者の栄養教育の実際」								
授業計画 【第11回】	「各機関での栄養教育（臨床現場）」								

授業計画 【第12回】	「各機関での栄養教育（公衆栄養現場・特定給食施設）」
授業計画 【第13回】	食環境づくりの重要性とと管理栄養士の果たす役割について学ぶ。 「食環境づくりと栄養教育（食物のアクセス）」
授業計画 【第14回】	「食環境づくりと栄養教育（情報のアクセス）」
授業計画 【第15回】	栄養教育と関係法規
授業の到達目標	１栄養教育は健康の保持・増進・生活の質・人生の質の向上に寄与することが目的であり、望ましい食行動の形成と確立を目指す人間教育を行うためには人の行動を全人的に理解することが重要であることを理解する。【知識・理解の育成】【態度・志向性の育成】 ２行動変容促すための理論や技法、栄養カウンセリングにおける初回面接やコミュニケーションについて習得する。【汎用的技能の育成】
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)
授業時間外の学習 【予習】	次回の授業範囲について予習する。（1時間） 新聞・テレビ・雑誌・インターネット等に掲載される情報に関心を持ち、それを5W1H「いつ(When)、どこで(Where)、だれが(Who)、なにを(What)、なぜ(Why)、どのように(How)」の6つの要素を中心にまとめて把握し、それに対する自分なりの意見を考え、文章にする習慣を身につける。（１時間）
授業時間外の学習 【復習】	人の行動の特性について行動科学の学びの中から得た知識や認識を復習する。（１時間） 新聞・テレビ・雑誌・インターネット等に掲載される情報に関心を持ち、それを5W1H「いつ(When)、どこで(Where)、だれが(Who)、なにを(What)、なぜ(Why)、どのように(How)」の6つの要素を中心にまとめて把握し、それに対する自分なりの意見を考え、文章にする習慣を身につける。（１時間）
課題に対する フィードバック	確認テスト、レポート、最終試験は評価後、返却及び解説をする。
評価方法・基準	以上の結果を総合して評価する。 1)第2回授業以降の毎回の確認テスト30点 2)授業への取り組み状況（授業態度、理由のない遅刻・早退含む）20点 3)定期試験50点
テキスト	『管理栄養士講座　栄養教育論　第3版』中村丁次・外山健二・笠原賀子編著　健帛社（「各論Ⅰ」共通）
参考書	『改訂マスター栄養教育論』逸見幾代・佐藤香苗　編著　健帛社 健康・栄養科学シリーズ『栄養教育論』丸山千寿子・足達淑子・武見ゆかり　編集　南江堂 『行動変容のための面接レッスン　行動カウンセリングの実践』　足達淑子著　医歯薬出版 『ライフスタイル療法Ⅰ　第4版 生活習慣改善のための行動療法』　足達淑子著　医歯薬出版
備考	管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験に基づき、実践的栄養教育に必要な知識や技術について講義を行う。 各ライフステージの対象者における健康栄養上の課題や課題解決のための栄養教育について、理論に加え、豊富な実例を交えた授業を行う。